

飯伊 産業経済動向

No.470 2018/5
(30. 6. 25 発行)



http:// www. iidashinkin. co. jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

| 主要指標 | | 実数 | 前月比 | 前年同月比 |
|--|--------|--------------|----------------|---------------|
| 手形交換高 (飯田手形交換所扱) | 枚数 | 3,955 枚 | 18.5 % | △ 8.2 % |
| | 金額 | 5,306,227 千円 | 17.8 % | 0.0 % |
| うち不渡発生状況 | 枚数 | 0 枚 | (前月 9 枚) | (前年同月 0 枚) |
| | 金額 | 0 千円 | (前月 10,991 千円) | (前年同月 0 千円) |
| 倒産件数 (負債額1千万円以上) | 県内 | 5 件 | (前月 5 件) | (前年同月 9 件) |
| | 飯伊 | 2 件 | (前月 1 件) | (前年同月 0 件) |
| 住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(4月) | | 71 戸 | 54.3 % | 121.9 % |
| 有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(4月) | | 1.51 倍 | (前月 1.60 倍) | (前年同月 1.46 倍) |
| 自動車新規登録台数 (松本事務所管内) | 新車 | 1,896 台 | △ 0.1 % | △ 1.7 % |
| | 中古車 | 597 台 | △ 4.9 % | 6.0 % |
| 軽自動車新規登録台数 (軽自動車協会連合会長野事務所) (4月) | 新車 | 3,537 台 | △ 45.9 % | 3.6 % |
| | 中古車 | 1,699 台 | 56.2 % | 1.3 % |
| 中央道利用台数 (飯田インター分) | 入 | 117,907 台 | 5.3 % | △ 1.7 % |
| | 出 | 118,739 台 | 5.0 % | △ 0.8 % |
| 中央道利用台数 (松川インター分) | 入 | 78,626 台 | 5.6 % | △ 1.1 % |
| | 出 | 75,729 台 | 6.2 % | △ 2.1 % |
| 中央道利用台数 (園原インター分) | 入 | 19,590 台 | △ 25.5 % | △ 8.5 % |
| | 出 | 20,281 台 | △ 35.1 % | △ 17.2 % |
| 中央道利用台数 (飯田山本インター分) | 入 | 43,652 台 | △ 2.7 % | △ 7.5 % |
| | 出 | 43,787 台 | △ 6.8 % | △ 8.6 % |
| 信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内) | | 183 件 | 51.2 % | 50.0 % |
| 信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内) | | 9 件 | (前月 0 件) | (前年同月 8 件) |
| 高速バス乗車人数 | 飯田～新宿 | 27,676 人 | 7.4 % | △ 3.2 % |
| | 飯田～名古屋 | 18,240 人 | 1.6 % | 0.0 % |
| | 飯田～長野 | 10,058 人 | 6.2 % | △ 4.8 % |
| 市内循環バス乗車人数 | 左回り | 3,142 人 | △ 4.6 % | △ 5.3 % |
| | 右回り | 3,452 人 | 1.4 % | 3.6 % |

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (http://www. iidashinkin. co. jp) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみなさまとともに行っています。



100%植物性油製インキ
[リサイクル紙100%]を使用しました。

再生紙を
使用しています

概況

製造業

5月の製造業の業況判断指数(DI)は、プラス7.1で、前月から3.3ポイント上昇。翌月予測もプラス7.4で、前月から14.8ポイント上昇している。

電気、精密機械器具の売上の前月比は、業者により増減分かれ、景況感が好転した業者も見られた。半導体、液晶製造装置向け部品の販売の前月比は、やや増加との声も聞かれた一方で、やや減少との声も少なくないが、総じて景況感の悪化には至っていない。産業機器や医療機器向け部品の受注、販売の前月比は、業者により増減まちまち。建築用金属製品の売上は、前月比、前年比とも減少も、景況感の悪化には至っていないとの声が寄せられた。自動車向け部品の販売は、前月比、前年比とも減少、景況感も悪化との声。小型電磁機器の販売は、前月比横ばい～やや増加。一部に先行きの受注の増加を見込んでいるとの声も。FA関連モーターの販売は、前月比、前年比ともやや増加、景況感も良好との声が寄せられた。光学機器の受注は、前月比、前年比ともやや増加、景況感も良好との声。電気、電子製品の受注は、前月比やや減少も、景況感良好との声が寄せられた。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比横ばい～やや増加。複数の業者から前年比は増加との声が寄せられた。もっとも景況感の好転までには至っておらず、「全般には年明けから良くないとの声が多い」「あまり変化はないが、全体に悪くはないということかもしれない」といった声が聞かれた。水引製品の販売は、前月比横ばい～やや増加も、景況感が好転した業者は見られない。漬物の販売は、前月比、前年比ともやや減少との声。「今年は花の開花が早く、ゴールデンウィークの土産物関係は予想より低調だった」という。

建設業

5月の建設業の景況DIは、マイナス25.0で、前月から18.3ポイント下降。翌月予測DIは、マイナス12.5で、前月から14.2ポイント上昇した。

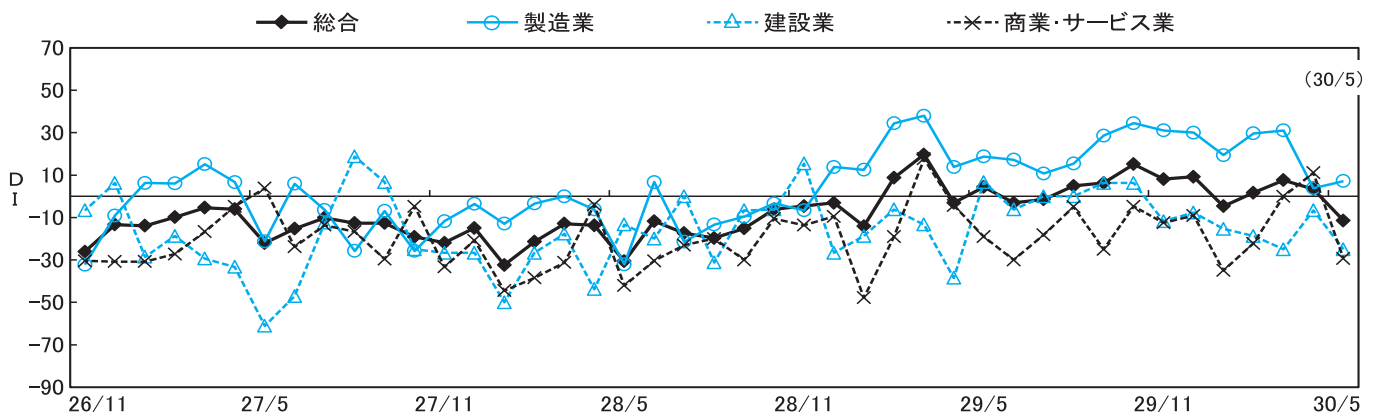
当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約8.6億円で、前月比は13%増加も、前年比は46%減少している(6月15日調査時点)。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、「受注できたのはありがたかった」などやや増加との声も複数聞かれるが、「4～6月は閑散期」ということもあり、やや減少～横ばいとの声が多い。

当地区の4月の住宅着工戸数は71戸。前月比54%増加、前年比も122%増加している。当月の調査先企業の受注残高の前月比は減少との声が多い。「新築住宅受注」「中規模民間工事が受注できてありがたい」などの声の一方、「新規物件は減少」「消費増税に向けてか、動きがない」などの声も聞かれた。

商業・サービス業

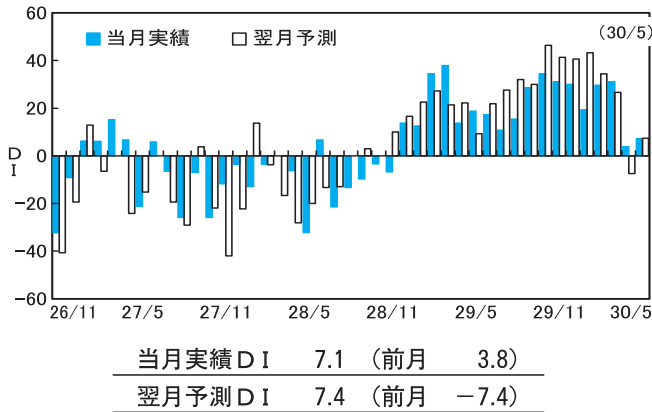
5月の商業・サービス業の景況DIは、マイナス29.4と、前月より40.5ポイント下降。翌月予測DIも、マイナス26.3で、前月より26.3ポイント下降している。食料品の売上の前月比は、やや減少～横ばい、一部に前年比はやや減少との声。総じて景況感に動きは見られない。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加も、先行きは増加を見込んでいるという。電化製品の売上は、前月比やや増加も、前年比減少との声。OA、事務機器の売上は、前月比減少、前年比増加との声。「一部にパソコン買い替えなどの動きもあるが、一過性の限定的な動きだと思われる」など、景況感に動きは見られない。娯楽用品の売上は、「今年は休日が多い分前月比はアップも、前年比はダウン」との声。衣料品の売上は、前月比減少も、前年比は増加。「例年4月は学販もあり、多忙で売上も多い。それに比べれば、衣替えを前にした当月は、売上も落ちる。もっとも、昨年よりは良くなったが、特別な原因は思い当たらない」などの声が寄せられた。土産物関連の売上は、前月比概ね横ばい～やや増加。仕入価格が上昇しており、それに伴い販売を見直した業者も見られた。松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比概ね横ばい、前年比は2%減少。4月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比46%減少も、前年比は4%増加。自動車販売、整備の売上は、前月比、前年比とも減少との声。市内料理店の売上は、前月比やや減少も、前年比やや増加との声。昼神温泉の売上は、前年比減少～横ばい。「連休明け後、ナイトツアーはあるものの、飲み物や売店の売上が悪く、全体的に落ちた」などの声が聞かれた。タクシーの売上は、前月比やや減少との声。

飯伊地区景況DI (本誌調査)



地区内製造業の景況判断指数

飯伊地区景況DI（製造業）



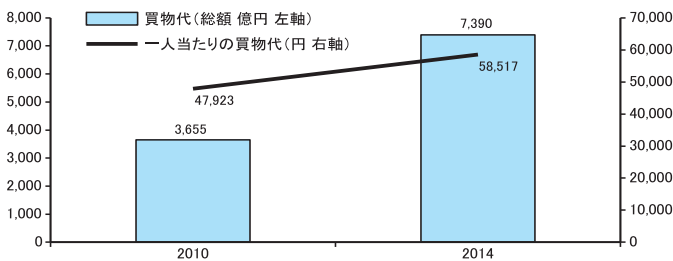
当月の製造業の業況判断指数（DI）は、プラス7.1で、前月から3.3ポイント上昇。翌月予測もプラス7.4で、前月から14.8ポイント上昇している。

訪日中国人の買物事情 - 「菓子類」を中心に

経済産業省の「平成27年度製造業基盤技術実態調査（製造業の立地競争力と国内投資に関する調査）」では、国内製造業の明るい動きとしてインバウンド効果の取り込みを挙げている。

訪日外国人旅行者の買物代金に着目すると、購入者単価は一人あたり1万円近く増加しており、訪日外国人旅行者にける買物志向の強まりが読み取れるという。

訪日外国人旅行者における買物代の変化

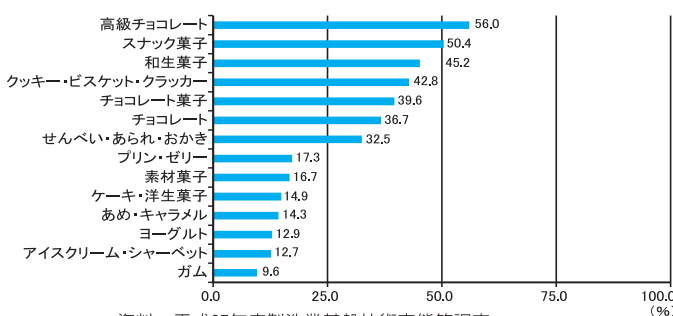


資料：平成27年度製造業基盤技術実態等調査
日本政府観光局、官公庁のデータを基に三菱総合研究所作成

訪日外国人の1/4を占める訪日中国人旅行者の買物を見ると、「化粧品・香水」が最も購入されているが、「菓子類」「その他の食品」もそれに続いている。

「菓子類」では、百貨店等で販売されている「高級チョコレート」の購入率が5割を超えているほか、「和生菓子」の購入率が45.2%となっている。「その他食品」では「日本茶」や「日本酒」も50%前後の人が

訪日中国人における菓子類の内訳の購入率

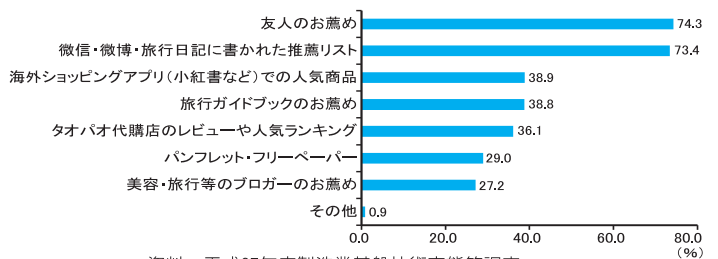


資料：平成27年度製造業基盤技術実態等調査
三菱総合研究所「訪日中国人買物行動調査」（2015/8実施）

購入しているほか、「味噌汁の素」の購入率も28.2%ある。

また、訪日中国人の55.1%が「買い物リスト」を作成しているのも特徴的で、この中でも46%が「菓子類」をリストに記載している。こうした「買い物リスト」を作成する際には、「友人のお勧め」「微信・微博・旅行日記に書かれた推薦リスト」などの他、「海外ショッピングアプリ（小紅書など）での人気商品」なども参考にされているという。

訪日中国人における買い物リスト作成の際に参考にする情報源



資料：平成27年度製造業基盤技術実態等調査
三菱総合研究所「訪日中国人買物行動調査」（2015/8実施）

機械加工製造業

電気、精密機械器具の売上の前月比は、業者により増減分かれ、景況感が好転した業者も見られた。一部に先行きも上向きとの声が聞かれ、こうした業者では製品在庫も増加している様子。原材料、資材価格が上昇傾向との声。雇用面は現状維持の様子。設備面で一部に積極的な声も。

半導体、液晶製造装置向け部品の販売の前月比は、やや増加との声も聞かれた一方で、やや減少との声も少なくないが、総じて景況感の悪化には至っていない。「スマホ、サーバー関連は一服感」「製造設備関連は需要拡大を見込むも一服感。秋以降に期待」「FPD関連良好」などの声が聞かれた。一部に先行きの生産の増加を見込む声も。こうした中、雇用面で「若干不足」などの声が聞かれた一方、「通常生産に戻つつあり、受注残も減少。製品在庫も適正水準になりつつある」「雇用は一時完了」などの声も聞かれた。原材料、資材価格の上昇を伝える声も多く、「原材料と刃物、工具代が上昇。原価を圧迫している」などの声。一部に設備面で積極的な声が聞かれた。

産業機器や医療機器向け部品の受注、販売の前月比は、業者により増減まちまち。「当月の売上は1月以降で最も多い」「受注量は一時より落ち着いてきたが、高止まりの状態」「久しぶりに製造業も多忙になってきた」「加工業は相変わらず忙しい」などの声の一方、「5月に入って一服との声が多くなった。この先の動向に注視している」「大口案件が山を越え一服感。小口が多く売上が伸びない」「4月納期分が多く、製品在庫も減少」「話は多いが、凶面が出るのが遅く予定通りに動けない」「当社は前倒して納入しているが、納期計画に余裕が出てきた」などの声も寄せられた。

原材料、資材価格が上昇したとの声も多く、「6月からアルミアップ」「素材が2～5%上昇。副資材や工具類も上昇している」「電気、ガス料金上昇」という。こうした中、一部に「製品単価も上昇」などの声もあるが、「材料が全体的に上昇しているが、製品単価のアップは厳しい」など、総じて製品価格に転嫁できないとの声が多い。雇用面では、「現状やや不足」「海外技術者増員の予定」などの声もあるが、「人材派遣などで増員終了。現在充足。とりあえず心配してい

ない」など現状維持との声が多い。設備面でも当面現状維持との声が多いが、「予定あり」「秋ごろ入れ替え。手配済み」「年末～年度末に向けて計画」などの声が聞かれた。

建築用金属製品の売上は、前月比、前年比とも減少も、これには「稼働日数」の影響があるほか、「オリンピック関連や再開発事業の引合が出始めた」こともあって、景況感の悪化には至らないとの声が聞かれた。原材料、資材価格に関し「メーカーから値上げアナウンスあり」という。雇用面、設備面で積極的な声が聞かれた。

自動車向け部品の販売は、前月比、前年比とも減少、景況感も悪化との声。

小型電磁機器の販売は、前月比横ばい～やや増加。一部に先行きの受注の増加を見込んでいるとの声も。原材料、資材価格が上昇基調にあるとの声が複数。設備面で積極的な声も聞かれた。

FA関連モーターの販売は、前月比、前年比ともやや増加、景況感も良好との声が寄せられた。「産業機械向け増加、車載向けは維持で推移」という。原材料、資材価格が上昇傾向にあるとの声が聞かれた。

光学機器の受注は、前月比、前年比ともやや増加、景況感も良好との声が寄せられた。こうした業者からは「募集を開始したが、採用は厳しい」など雇用面でも積極的な声が聞かれたほか、設備面でも積極的な声。原材料価格が上昇傾向という。

電気、電子製品の受注は、前月比やや減少も、景況感も良好との声が寄せられた。「今までのづくりは海外で行ってきたが、高付加価値品の引合が多く数量も多くはないこともあり、『Made In Japan』の検討を始めた」との声が寄せられた。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比横ばい～やや増加。複数の業者から前年比は増加との声が寄せられた。「特定の販路で導入があり増加」「注文やや増加」などの声。もっとも景況感の好転までには至っておらず、「全般には年明けから良くないとの声が多い」「あまり変化はないが、全体に悪くはないということかもしれない」といった声が聞かれた。「包材やナッツ類の値上げの話が来ている」など原材料、資材価格がやや上昇ないしは上昇を見込む声が複数。雇用面では現状維持との声が多いが、一部に「1名予定」との声も。設備面で積極的な声が複数聞かれた。

水引製品の販売は、前月比横ばい～やや増加も、「新規商談、引合など少なく、静かな状況」「所得格差で消費が左右される時代、義理は後退しているように思う。心温まる心遣いがあっても良いと思うのだが」など景況感が好転した業者は見られない。盆用品に関し、「入荷が始まった。納期、品質とも順調に搬入されている」「仏事関係の仕事が増えたが、全体をカバーできるほどではない」などの声。原材料、資材価格に関し「中国からの輸入品は落ち着きつつあるが、国内品は値上がり」などやや上昇との声が複数。製品価格を値上げした業者からは「想定以上に価格改定に理解を示す得意先が多かった。若干の効果が出ている」「値上げの浸透には時間がかかる」などの声が寄せられた。「7月下旬までパートが増員」するが、「祝儀用品の売上低下は内職者、技術者の減少につながり、そうなるとう長期的に対処が難しくなる。値上げも含め、売上の減少に歯止めをかけることは地場産業として成り立っていく上で重要だろう」との声が寄せられた。「地場産業センターの移転に伴い水引組合事務局も引越す。新しいセンターには、起業する人向けの共

同スペースや学生との交流の場も設けられるとのことで、少しでも業界の発展につながるような効果を期待したい」との声が聞かれた。

漬物の販売は、前月比、前年比ともやや減少との声。「今年は花の開花が早く、ゴールデンウィークの土産物関係は予想より低調だった」という。原材料、資材価格に関し、「天候の安定に伴って原材料価格も安定してきたが、資材等の値上げの動きがある」との声が聞かれた。

その他製造業

食品関連包材の生産は、前月比やや減少、先行きも弱含みとの声。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかったという。

印刷、出版関連の売上は、前月比減少、前年比やや増加との声が聞かれた。「これからの時期は8月まで仕事量が減少傾向になる。新たな仕事の取り込みが課題」という。「板紙や段ボールなど、紙の値上がりの話がある。堪えて欲しいところだが」など原材料、資材価格の上昇が見込まれるという。雇用面で「求人中だが、希望する人材に巡り会うのが難しい」との声。設備面では「必要な設備は投資する。だが、本当に必要な設備かどうか再検討中」との声が聞かれた。

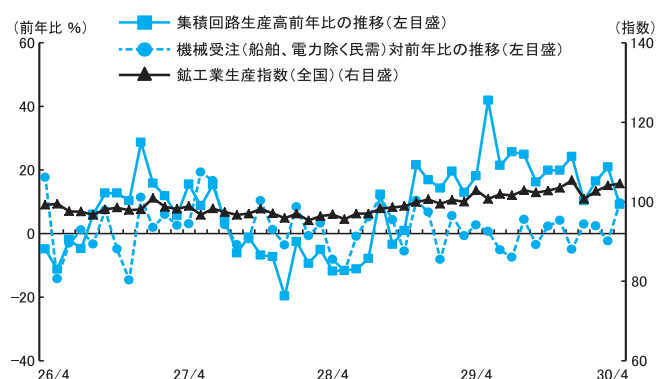
衣料品の受注は、前月比減少、前年比はやや増加との声が寄せられた。「春夏商品の納期は例年5月中旬だが、今年は6月中旬くらいまで後ずれしている。今のところ生産の端境期がないようにも思えるが、秋冬物の投入が遅れそうで7、8月の生産が読めない」という。「新入社員、中途採用を積極的に進める」などワーカーの不足が続いているが、「習得するのに最低2、3年必要でなかなか育たない。日本製品が求められているが、国内での受注は許容量を超えつつあり、生産の増加に対応できていない」という。原材料価格が上昇基調にあるとの声が聞かれた。

住宅機器、オフィス家具や店舗用什器など家具の生産は、前月比概ね横ばい、前年比はやや増加との声が寄せられた。景況感に動きは見られない。先行きは弱含みという。

【企業からのコメント】

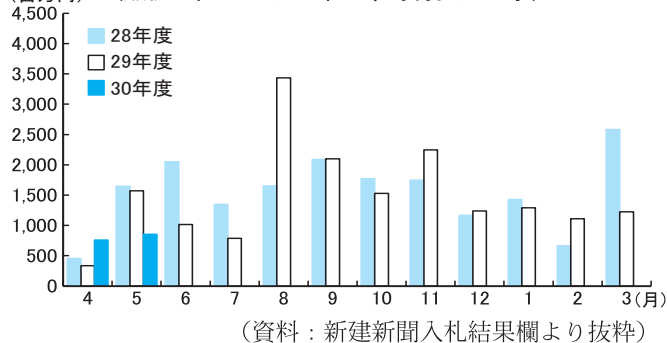
- ★リニア関連工事の本格化に伴う、人どもの動きに期待したい。
- ★製品の一部を国内で生産しようと検討中だが、当地域で材料調達も含めた完成品化ができる企業はないだろうか。
- ★新しい価値観を持って取引先と交渉していくことが重要。
- ★加工業は相変わらず忙しいが、品質の良くない企業は選別される。品質、納期の確実を期していく。

集積回路、機械受注・鋳工業生産指数の推移



月別入札額

(飯伊地区における県・市町村発注工事)



(資料：新新聞入札結果欄より抜粋)

当月景況DI -25.0 (前月 -6.7)

翌月予測DI -12.5 (前月 -26.7)

官公需

当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約8.6億円で、前月比は13%増加も、前年比は46%減少している(6月15日調査時点)。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は、「受注できたのはありがたかった」などやや増加との声も複数聞かれるが、「4~6月は閑散期」ということもあり、やや減少~横ばいとの声が多い。「発注件数は少ない。4~6月は受注が増えないが、発注量の増加と平準化を望んでいる」「公共工事の発注が少なく競争は厳しい」「各社とも忙しくないのではないか」「公共工事はない」「昨年並みの発注はあるだろうが、目下は発注が少なく、競争激化。このままだと経営に深刻な影響が出るところもあるのでは」「首長選挙を控え発注時期が遅れる可能性がある」「三遠南信自動車道、リニア関連工事とも動きはない」「年間契約額は前年に比べ増加。追加受注の動きは鈍い」などの声が聞かれた。先行きの見方は分かれるが、弱含みとする業者がやや多い。

完工高や設計業務の出来高に関し、「繰越工事が進んでいる」「前年度からの繰越業務により出来高増加」など増加との声が少ないが、一部に「補正予算工事を受注はしたものの、未着工」との声も。

こうした中、景況感が好転した業者は見られず、悪化したとの声が複数聞かれたほか、動きはないとの声が多い。

雇用面では、「技術者、営業、経理」「施工職員募集」などの募集を続けているとの声が聞かれるものの、「パートさんのみで回している」など、現状維持との声が多い。設備面では、「車両入替」「OA機器」「基幹サーバ入替」などの声もあるが、「少し控える」など、積極的な声は多くはない。

民需

当地区の4月の住宅着工戸数は71戸。前月比54%増加、前年比も122%増加している。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は減少との声が多い。「新築住宅受注」「中規模民間工事が受注できてありがたい」などの声や、「新規物件は減少」「消費増税に向けてか、動きがない」「民間は大型工事が少ない。小さい民間工事や維持工事でのいである」「大型工事完成で受注残が減少」などの声が聞かれた。

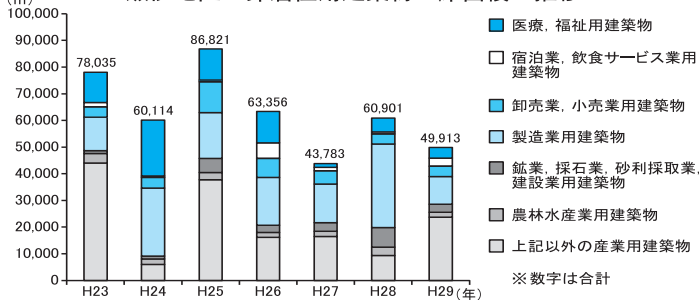
「鋼材、合板類」などの価格が上昇しているとの報。設備面で積極的な声は聞かれなかった。

飯伊地区の非居住用建築物工事床面積の推移

国土交通省の建築物着工統計では、建築主から提出される建築届を基に、建築物の数、床面積の合計、工事費予定額などを集計している。これによって飯伊地区

区の作業場(工場)、倉庫、店舗といった非居住用建築物の建築床面積の推移をみると、平成29年の製造業用建築物は、前年比マイナス67%、非居住用建築物の合計は49,913㎡で前年比マイナス18%となっている。

飯伊地区 非居住用建築物の床面積の推移



(資料：国土交通省「建築物着工統計調査」)

建設資材

塗料等の建設資材の売上は、前月比やや増加、前年比は概ね横ばいとの声が寄せられた。「今後公共事業が動いてくれば全体的に多忙になる見込み」など先行きは上向きという。「石油価格上昇、運賃上昇で仕入の上昇が続くだろう」との声が聞かれた。

鋼材の売上は、前月比、前年比ともに減少との声。「動きは良くない。ここ2、3年、5月の売上が低下するようになったが、今年はかなり落ち込んだ」「景気は良いとの声も多いが、鋼材の動きは決して芳しくない。地方の鋼材流通は厳しい状況にある。当月の落ち込みは一時的なものだと考えているが、だからといって景気上昇とはいかないだろう」など景況感も悪化している。鋼材価格は、「強含み横ばい。品種によっては値上げ」という。

生コンの売上の前月比は、地域によっては減少との声も聞かれたが、やや増加との声が多い。前年比は業者により増減分かれる。「主な出荷は、浄水場工事、リニア関連工事、特養、病院や、ビジネスホテルの建築工事、三遠南信自動車道関連工事、天竜川護岸、林道改良工事に関わるもの。JR発注のリニア関連工事は前月より増加」「河川改修工事や砂防ダム工事の打設が連休で多少減少。堰堤工事の着工が遅れそうで、多少低迷しそう」などの声が寄せられた。

骨材の売上は、前月比、前年比とも業者により増減分かれる。「例年通りとはいえ、当月は動きが少ない。多少の地域差はあるが、全体に生コンの低迷の影響が大きい」など景況感が悪化した業者も見られた。「この夏、三遠南信自動車道の舗装等が数本あるなど明るい話題もあるが、リニアの本格需要を期待している」などの声が寄せられた。

【企業からのコメント】

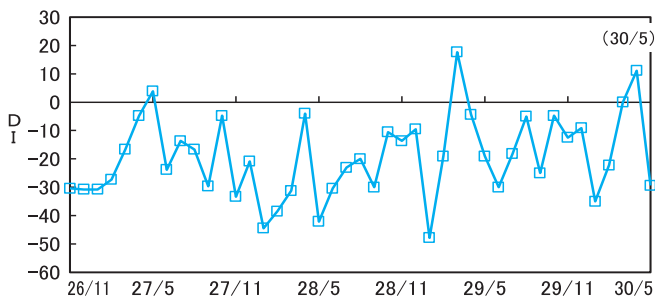
- ★仕入の上昇を、少しずつ転嫁していきたい。
- ★三遠南信自動車道や中電清内路発電所のお蔭で荷動きがある。
- ★地元農業者の高齢化に伴い、農地改良や水稲関連の工事が増えた。

住宅建築確認申請受付状況(※本誌調査による概数)

- 5月 ○飯田建設事務所分
 新築 14件 (前年 11件)
 増築 0件 (前年 7件)
 ○飯田市役所分
 新築 30件 (前年 21件)
 増築 1件 (前年 1件)
 ※指定確認検査機関分を含む

商業・サービス業

商業・サービス業DI



当月景況DI -29.4 (先月 11.1)

翌月予測DI -26.3 (先月 0.0)

商業

食料品の売上の前月比は、やや減少～横ばい、一部に前年比はやや減少との声。総じて景況感に動きは見られない。「客数の減少は続いているが、客単価、買上点数は増加している」「生鮮品の乱高下が続いている」「盆用品販売の準備」などの声が寄せられた。先行きは弱含みとの見方が多い。

【青果卸売市場】

売上は前月比やや増加、前年比はやや減少という。野菜は、「天候よく、全体的に前進出荷。産地の競合も重なり、馬鈴薯・キャベツ・レタス・ブロッコリー・白菜等は10～25%安。野菜全体では、入荷量3%減で、価格も6%安。冬場の高値もあって買い控えが続いている感じがした」という。果実は、「国産柑橘の不作による入荷減、輸入柑橘の販売の高値推移やパイナップルの高値傾向などから、果実全体では入荷量8%減、価格は9%高であった」という。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや減少も、先行きは増加を見込んでいるという。総じて景況感に動きは見られない。

電化製品の売上は、前月比やや増加も、前年比減少との声。「太陽光関連の売上が減少する中、既存の商材は順調。下伊那の大型物件がないことが不安材料。一方、上伊那は順調。特に大規模工場の動きが良い」という。「銅の価格により、関連商材の在庫が多少増加している」という。

OA、事務機器の売上は、前月比減少、前年比増加との声。「一部にパソコン買い替えなどの動きもあるが、一過性の限定的な動きだと思われる」など、景況感に動きは見られない。「例年のことだが、夏に向けては厳しくなる」など先行き弱含みとの声が聞かれた。

娯楽用品の売上は、「今年は休日が多い分前月比はアップも、前年比はダウン」との声。先行きはやや増加を見込んでいるという。

衣料品の売上は、前月比減少も、前年比は増加。「例年4月は学販もあり、多忙で売上も多い。それに比べれば、衣替えを前にした当月は、売上も落ちる。もっとも、昨年よりは良くなったが、特別な原因は思い当たらない」「買い控えや購入単価の減少が見られる。依然衣料品の消費性向は低く厳しい」などの声が寄せられた。

土産物関連の売上は、前月比概ね横ばい～やや増加。仕入価格が上昇しており、それに伴い販売を見直した

業者も見られた。

松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比概ね横ばい、前年比は2%減少。中古車は、前月比5%減少も、前年比は6%増加した。4月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比46%減少も、前年比は4%増加。中古車は、前月比56%増加、前年比も1%増加した。

自動車販売、整備の売上は、前月比、前年比とも減少。「当月は、中古車が、販売台数、単価ともに下がったため、全体の売上減少につながった」との声が聞かれた。先行きも弱含みという。

サービス業

市内料理店の売上は、前月比やや減少も、前年比やや増加、「小さな宴会は多かった。連休も少し良かった」などの声が聞かれた。「仕入は上昇。一方で値上げはできない。原油が高くなってきたが、このままだと何もかにも値上がりし、消費に影響があるのでは」など、景況感の悪化を伝える声が寄せられた。

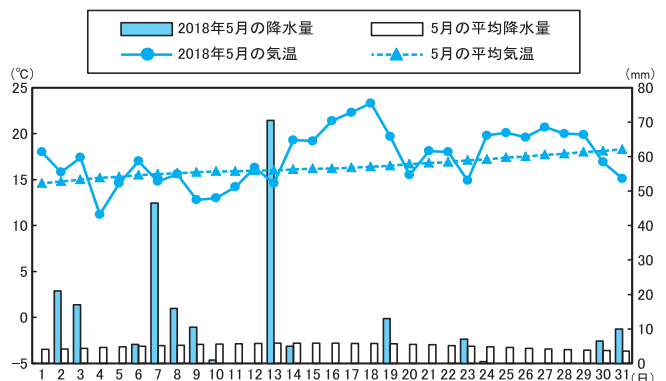
昼神温泉の売上は、前年比減少～横ばい。「連休明け後、ナイトツアーはあるものの、飲み物や売店の売上が悪く、全体的に落ちた」「20日にナイトツアーが終わり、それ以降賑わいを感じない。それに伴って売上も減少傾向にある」「仕入では食品、野菜を中心に様々なものが値上がりし、利益を圧迫している」「働き手不足を実感する」などの声が聞かれた。「南木曾で宿泊施設が開業準備中だが、この施設は単価が安い。安値競争が始まることを懸念している。また、星空ツアーも競合が増えてきた。こうした中、昼神を始めとする南信州観光の魅力づくり、まちづくりを真剣に考えなければならぬと思う」との声が寄せられた。

タクシーの売上は、前月比やや減少との声。「即座に対応してくれる業者を利用するお客様が多い傾向は、明確」という。「各社ともに労働力不足は深刻」で、「労働時間の削減と労働力の確保は重要な課題。業界内で労働力の差が広がる可能性があるのではないか」

【企業からのコメント】

- ★鉄鋼業関係の顧客からは「忙しい」との声をよく聞く。運送業などを含め、「人材が欲しい」との声は多い。
- ★南信州観光では、今までの良いところは残し、更に魅力づくりを進めていかなければならない。危機感がある。
- ★再リースを繰り返してきたが、いよいよメーカーから保守管理の終了を告げられた。施設の修理、機械類の入れ替え等出てきている状況。

飯田の気温と降水量



RESAS で見る、北陸新幹線の金沢延伸開業と中津川市の外国人観光客

北陸新幹線が金沢まで延伸開業したのは2015年3月。長野駅が終着駅から途中駅となり、当初は長野の観光への悪影響を懸念する声もあったという。以下1では、RESAS を使い、北陸新幹線の金沢延伸開業前後の時期、戸倉上山田温泉、別所温泉を行政区域に持つ千曲市、上田市や、長野市、軽井沢町など長野県内の北陸新幹線沿線自治体（以下「上記の県内自治体」という）の観光に何らかの変化があったのかどうか調査した。

また、2では、同じく RESAS を使い、観光ルートに昼神温泉と併せることも多いだろう、馬籠宿を行政区域に持つ中津川市で、外国人観光客は増えているのかを調査した。

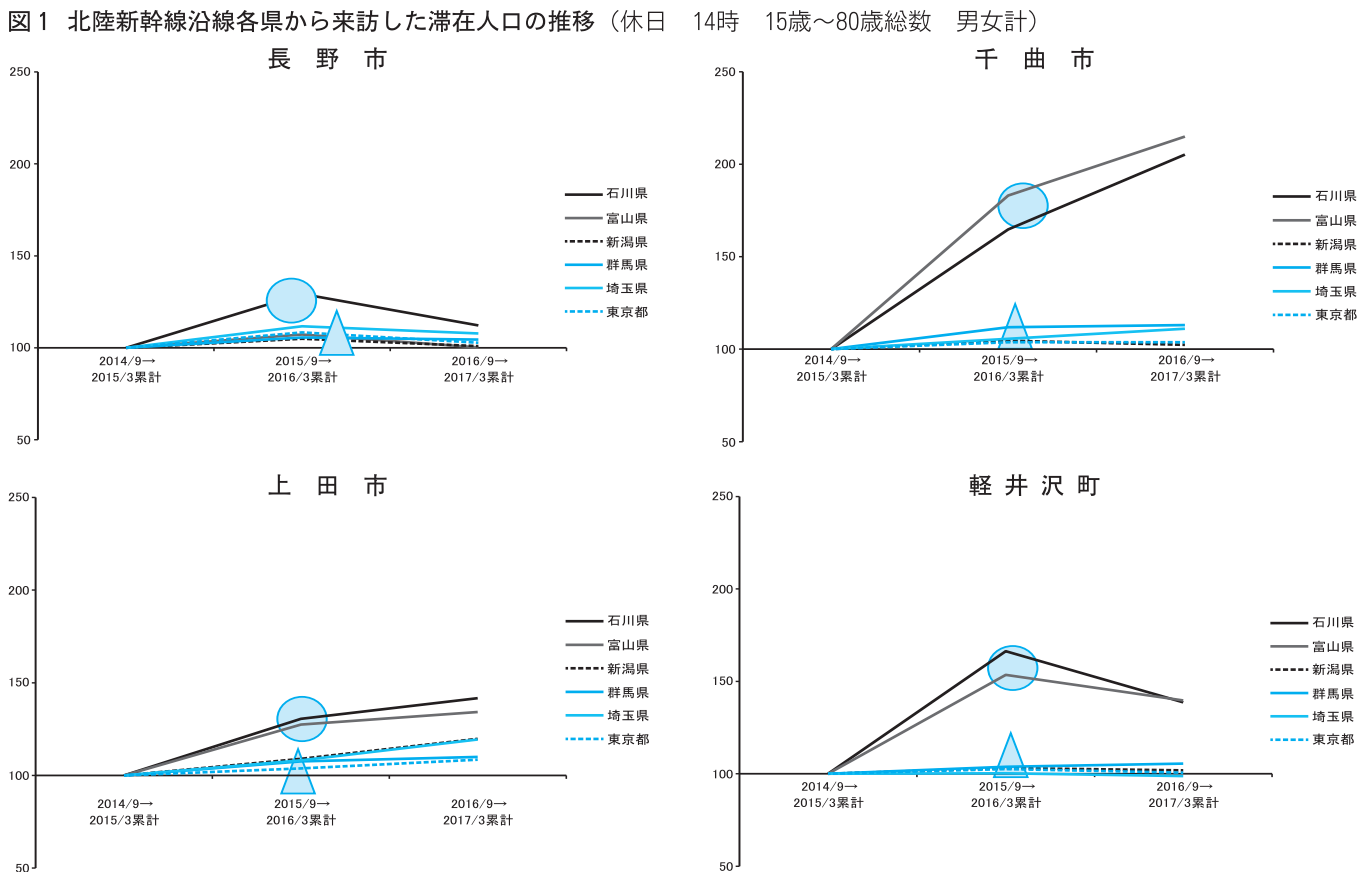
※RESAS（リーサス、地域経済分析システム）は、内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部が、地方自治体の様々な取り組みを情報面から支援するため、産業構造や人口動態、人の流れなどのビッグデータを集約し可視化したシステム。自治体専用となっているもの以外のデータは、グーグル、グーグルクロームを用いて一般に利用可能となっている。

1. 北陸地方からの来訪者は増えたか？

北陸地方からの、上記の県内自治体への来訪者は増えたのだろうか。

リーサスでは「From-to 分析」という機能があり、これを用いると、ある都道府県・市町村に2時間以上滞在した人（リーサスでは「滞在人口」という）が、どの都道府県からやってきているのかが分かる。

図1は、これを利用して、北陸新幹線沿線の6都県から上記の県内自治体に来訪した滞在人口の推移を見たもので、北陸新幹線の金沢延伸開業以前の半年間（2014/9～2015/3）累計を100とした、翌同期、翌々同期の指数を示している。



（出典：RESAS まちづくりマップ→From-to 分析（滞在人口） 再編加工）

県外から来訪した「滞在人口」には、自動車など新幹線以外の方法で来訪した数も含まれるため、北陸新幹線の延伸開業だけが増加の理由と断定することはできないが、RESASによる限り、上記の県内自治体では、2015年3月の北陸新幹線の延伸開業の後、北陸新幹線が延伸した石川県、富山県からの来訪者（グラフでは○で括弧である）は増えているように思われる。また、富山県から長野市への来訪者などの例はあるものの、既に長野駅まで北陸新幹線が開通していた群馬県、埼玉県、東京都からの来訪者（グラフでは△で括弧である）に比べると、北陸新幹線が延伸した石川県、富山県からの来訪者の増加幅も大きい傾向があるといえるのではないだろうか。

2. 馬籠宿の外国人旅行者は増えたか？

RESASの観光マップでは、経路検索ソフトの検索回数を利用して、ある観光施設が、どこの地域から多く検索されているかが把握できる。図2は、これを用いて昼神温泉を目的地とする検索回数を、検索地ごとに調べたものだが、馬籠宿を行政地域に持つ中津川市から検索している回数が少なくないことが分かる。グラフにはないが飯田市や阿智村で馬籠宿を検索する観光客も多い。少なからぬ観光客が昼神温泉と馬籠宿を観光ルートに含めると実感されている方は多いのではないか。

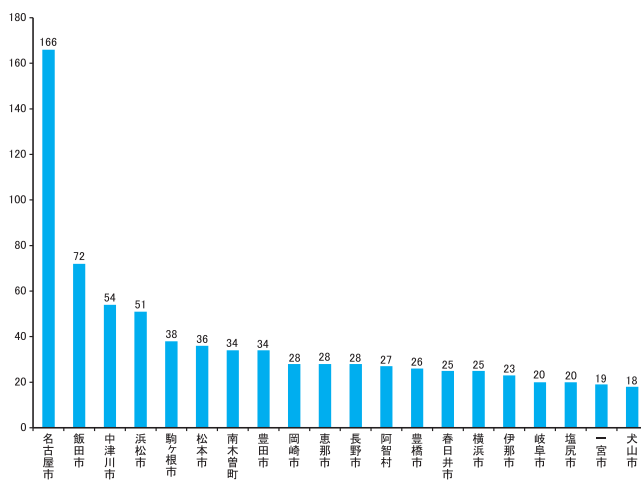
そこで、馬籠宿を行政区域に持つ中津川市の外国人滞在者の推移を見たのが図3である。これはRESASで、休日昼間、中津川市に滞在する月間の外国人滞在者数の推移を示したものだが、これによると漸増傾向にあると言えるだろう。グラフにはないが、2016年1月から2017年8月までの20か月間の内、15か月で前年同月比がプラスになっている。

図3から、中津川市に滞在する外国人の年間ピークは4月であることも分かる。このことは、アメリカ人とオーストラリア人に長野、信州の観光旅行で体験したいことを聞いたところ、「桜や花の観賞」という回答も少なくなかったことと総合的な結果のように思われる。また、このアンケートでは、「温泉への入浴」、「山などの自然の観賞」「鉄道に乗る」といった、信州ならではの観光資源に魅力を感じるとしている。

RESASのデータからは、新幹線の開通を契機に訪問者が増える場合があることや、馬籠宿を擁する中津川市を訪れる外国人が増えているといった結果が見て取れる。リニア開通を控えた、昼神温泉を始めとする当地域の観光を考える上で参考になるのではなかろうか。

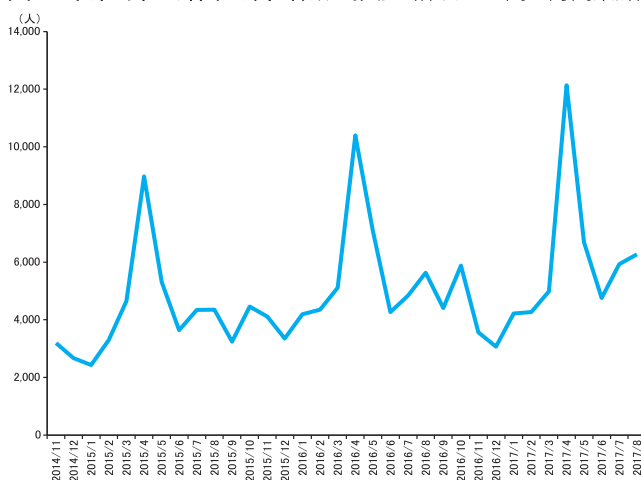
（飯田信用金庫 地域サポート部 中村 達）

図2 昼神温泉への出発地一覧（2016年 休日 自動車）



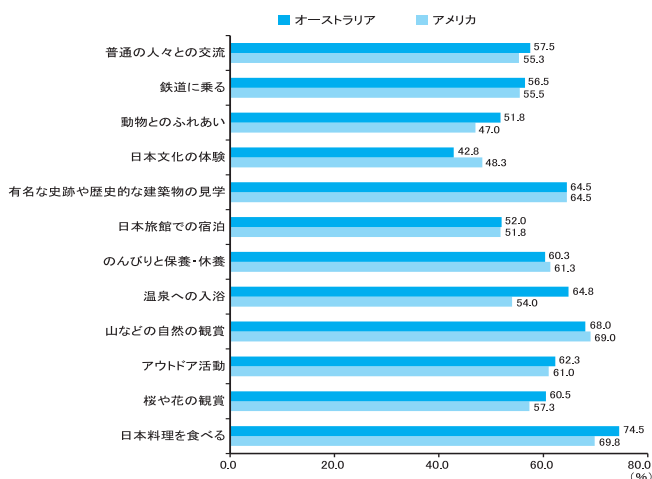
（出典：RESAS→観光マップ目的地分析 出発地）

図3 中津川市の外国人滞在者数の推移（休日 昼間 月間累計）



（出典：RESAS→観光マップ外国人滞在分析）

図4 長野・信州の観光旅行で体験したいこと（複数回答）



（資料：株式会社通総研 経済研究所「インバウンド観光とシェアリングサービス利用の動向」）

顧客ターゲットを絞る

飯田信用金庫 地域サポート部 企業経営サポート課
中小企業支援アドバイザー 佐々木信高

人口減少、少子高齢化により、将来のマーケットが縮小していく中において、経営資源に乏しい中小零細企業は、ますます経営を続けていく事が至難であるといわれています。マクロ的にみればマーケットの縮小は現実ですが、大企業は、一定のマーケットシェアを確保して、お客層も幅広いので、そのまま売上減少につながります。数十人の従業員を抱える中小企業と違い、数百人、数千人の従業員を抱える大企業は、世界進出やM&Aなどあの手この手で売上や利益の維持と確保をしていかなければなりません。

しかし、規模の小さな企業は、顧客数も数百人から数千人の規模であるところが多く、人口減少があってもまだまだ開拓の余地はあると思います。

企業訪問の折に、「御社のお客ターゲットは誰（どこ）ですか？」という問うと、「ターゲットを絞ると売上に悪影響がある」「誤ったターゲットを選定しそうだ」「来ていただけるお客がすべてターゲットだ」という返事が返ってくる場合があります。確かに絞り込みの順番を間違えたり、絞り込み過ぎてしまうと、こういったケースの可能性もありますから、ご意見としてはYesでありNoでもあると思います。しかし、市場規模と訴求のしやすさのバランスの良いところを狙うと捉えれば難しい話ではないと思います。補助金申請時において、申請書の欄に、顧客ターゲット、顧客ニーズ、市場の動向を記載する項目がありますが、この欄の記載が弱い申請書が見受けられます。当社の顧客は誰か？顧客の照準をどこにしているのか？つまり、主にどういった人に顧客になって欲しいかという事で、日常経営の中でも重要であると感じます。

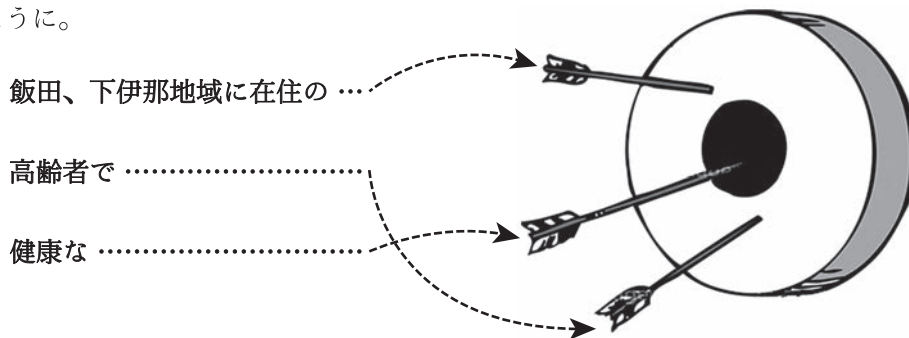
では、なぜターゲットを絞る必要があるのか？それは、物も情報もあふれている現在、全ての方に受けるものなどありえないからです。万人受けを狙ったものはポイントがぼやけてしまい、ターゲットを絞った競合先に負けてしまうからです。また、自社の商品やサービスを購入する可能性の低い人たち向けに営業活動や販売促進をとってしまい、経営資源（人、物、金、情報）のムダな投資が発生します。ターゲットを絞るとは、「他を捨てる」事ではなく優先順位をつけることで、自社のマーケティングを効率的に行うものだと認識する事が必要でしょう。

ターゲットを決める際に注意したいのは、一発で絞り込もうとすると対象が狭すぎて十分な市場が無いということがあります。つまり、母数（見込み客の数）が減ってしまうという点から、大きい（広い）ところから決めて、徐々に、期待する市場規模があるボリュームに絞り込んでいく方法が良いと思います。

具体的には、以下のような切り口から徐々に絞り込みをしてみたらどうでしょうか。

| ターゲット設定の切り口 | ターゲットの例 |
|-------------|---|
| 人口統計学的特性 | <ul style="list-style-type: none"> ・30代の女性 ・若年層の経営者 ・高齢者の男性 |
| 地理的特性 | <ul style="list-style-type: none"> ・長野県在住 ・飯田市在住 ・外国人 |
| 心理学的特性 | <ul style="list-style-type: none"> ・仕事より家庭を大事にしたい人 ・〇〇にこだわっている人 ・健康に気を使っている人 |
| 社会学的特性 | <ul style="list-style-type: none"> ・単身世帯 ・3世代家族 ・幼い子供のいる家族 |
| 行動特性 | <ul style="list-style-type: none"> ・お酒を良く飲む人 ・早起きの人 ・ゴルフ初心者 |

例えば、このように。



絞り込んだターゲットだけしか顧客にならないわけではありません。拡大解釈したターゲット以外の顧客が購入者になるケースもあります。

例えば、

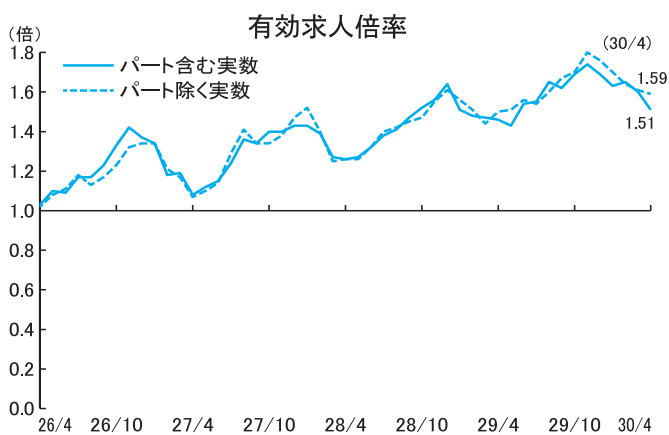
* シニア層を狙ってレトロ調のお店にしたら、若者には新鮮に映り、若者の来店が多くなった。

* 高齢者や小人数家族のために、キャベツ1/2、白菜4/1などカット野菜の販売も定番になりましたが、更に進化して、ターゲットを勤め人の主婦として、もっと細かく野菜をカットして、炒めたり煮たりするだけの小袋入り野菜が売れているそうです。学生や独身サラリーマンが、カップラーメンに入れたり野菜炒めにするなど、思わぬところで利用されているのです。

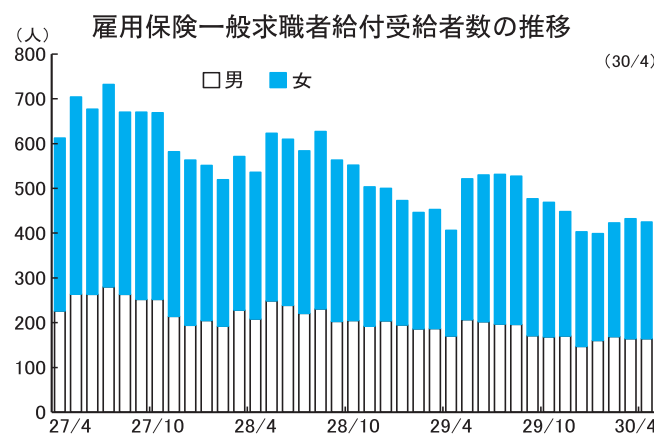
このように、絞り込んだら価値が際立って、絞り込み以外の顧客の利用もあります。ターゲット絞り込みの真価は、こういうことかもしれません。

飯田信用金庫では、2名の専門アドバイザーによる継続的な事業支援を行っています。
今回執筆を担当した当金庫専門アドバイザー 佐々木信高 は、商工会、商工会議所で地元中小企業の支援業務に長く携わった経験を基に、皆様の課題の解決に向けた取組のお手伝いをさせていただきます。
ご用命は、飯田信用金庫 地域サポート部 企業経営サポート課（飯田市本町1-2 飯田信用金庫4階 TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132）まで お気軽にお申し付けください。

雇用の状況



4月の月間有効求人倍率は、パートを含む実数で1.51倍と、前月から0.09ポイント下降。パートを除く実数は1.59倍で、前月から0.02ポイント下降している。



4月の雇用保険一般求職者給付の受給者数は、男性は前月と同数。女性は前月から7人減少しており、全体では425人と前月から7人減少している。

(資料：ハローワーク飯田)